



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年2月2日

上場会社名 株式会社ミロク情報サービス 上場取引所 東  
 コード番号 9928 URL http://www.mjs.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 是枝 周樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 滝本 訓夫 (TEL) 03 (5361) 6369  
 経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	14,440	4.0	1,501	84.8	1,486	82.9	760	128.8
23年3月期第3四半期	13,882	△0.1	812	65.8	812	75.7	332	100.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 738百万円 (96.2%) 23年3月期第3四半期 376百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	24.82	24.04
23年3月期第3四半期	10.82	10.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	15,042	8,276	55.0
23年3月期	14,993	7,899	52.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,270百万円 23年3月期 7,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,300	2.9	1,650	9.5	1,600	7.5	832	17.9	27.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有・無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無  
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有・無  
④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	34,806,286株	23年3月期	34,725,286株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	4,134,392株	23年3月期	4,133,125株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	30,663,483株	23年3月期3Q	30,755,386株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、東日本大震災後の景気後退局面から着実に持ち直しつつありましたが、長期化する円高やデフレ経済に加えて、欧州の金融不安、タイの洪水によるサプライチェーンの混乱などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

ソフトウェア業界及び情報サービス業界におきましては、企業のIT関連投資を含む設備投資に一部回復の兆しが見られたものの、景気回復の遅れにより依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境の下、MJSグループは第2次中期経営計画（平成24年3月期～平成26年3月期）の経営ビジョンである「顧客基盤と安定収入の拡大に継続的に取り組むとともに、インターネット技術を利用した多様化するビジネスモデルをはじめ、さまざまな環境変化に柔軟に対応できる経営基盤の確立」の実現に向けた取り組みを行っております。

本年4月に、会計事務所における“経営の最適化”を実現する新製品『ACELINK NX-Pro』を発売し、新規顧客の開拓に努めてまいりました。また、中小企業向けERPシステム『MJSLINK II』においては、管理会計や経営分析機能の拡充に加え、外部システムとの連携強化を図ることにより、多様化する顧客ニーズに対応してまいりました。さらに、IFRS（国際財務報告基準）対応やクラウドサービスを実現する、中堅企業向けの新ERPソリューション『Galileopt NX-I』の開発（平成24年2月発売）に注力するなど、顧客基盤のさらなる拡大に向けた取り組みを行っております。

一方、ソリューション営業力を強化するための営業研修や、より高品質なワンストップサービスを提供するためのCS（カスタマーサービス）研修をはじめ、人材力強化に向けた積極的な投資・育成活動に努めてまいりました。

お客様に対して最適な経営システム及び高品質なサービスを提供し、顧客基盤の維持・拡大を図ることにより、安定的な利益創出、企業価値向上に努めております。

このような事業活動により、会計事務所及び企業マーケットにおける主力システムの売上高及びサービス安定収入が伸長したため、当第3四半期連結累計期間における業績は増収増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高144億40百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益15億1百万円（前年同期比84.8%増）、経常利益14億86百万円（前年同期比82.9%増）、四半期純利益7億60百万円（前年同期比128.8%増）、となりました。

当第3四半期連結累計期間の品目別の業績は以下の通りであります。

#### (システム導入契約売上高)

ハードウェア売上高は、前年同期と変わらず15億75百万円でしたが、ソフトウェア売上高は、会計事務所向け新製品及び企業向けERPシステムの販売が好調に推移したため、前年同期比9.7%増の61億59百万円となりました。ユースウェア売上高は、前年同期比2.9%減少し16億64百万円となりました。

この結果、システム導入契約売上高の合計は、前年同期比5.6%増加し93億98百万円となりました。

※「システム導入契約売上高」は、システム導入契約時の売上高の合計として、ハードウェア、ソフトウェア、ユースウェア（システム導入支援サービス等）の売上高から構成されております。

#### (サービス安定収入)

会計事務所向けの総合保守サービスであるTVS（トータル・バリューサービス）収入は、前年同期比4.8%増加し14億61百万円となりました。ソフト使用料収入は、会計事務所の顧問先企業向けの低価格なソフト使用料収入が伸張し、前年同期比8.9%増の2億98百万円となりました。企業向けのソフトウェア運用支援サービス収入は、前年同期比4.6%増の19億74百万円となりました。ハードウェア・ネットワーク保守サービス収入は前年同期比0.6%減少し8億32百万円、サプライ・オフィス用品は前年同期比4.3%減少し4億43百万円となりました。

この結果、サービス安定収入の合計は、前年同期比3.1%増加し50億12百万円となりました。

※「サービス安定収入」は、主に継続的な役務の対価となる安定的な収入として、ソフト保守やハード・ネットワーク保守、ソフト使用料収入、サプライ・オフィス用品等の売上高から構成されております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ48百万円増加して150億42百万円となりました。

主な要因は、流動資産では、現金及び預金が63百万円増加、受取手形及び売掛金が1億5百万円減少、有価証券が2億円増加、仕掛品が1億33百万円増加しております。固定資産では、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定が2億39百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億29百万円減少して67億65百万円となりました。主な要因は、未払金が1億55百万円増加、賞与引当金が2億77万円減少、社債が1億52百万円減少、長・短借入金が77百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億77百万円増加して82億76百万円となりました。また、自己資本比率は55.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第4四半期の経済情勢は、欧州の金融不安、先進国の景気低迷に加え、好調を維持しておりました新興国の景気減速などの先行き不透明な状況にあり、当社グループの属するソフトウェア業界及び情報サービス業界におきましても、依然として厳しい経済環境が続くものと予測されます。

このような経済状況を鑑み、当社グループといたしましては、平成23年5月12日に公表しました通期の連結業績予想は変更せず、据え置くことと致します。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,129,641	3,192,809
受取手形及び売掛金	3,221,842	3,116,081
有価証券	—	200,000
商品	192,977	252,262
仕掛品	49,857	183,756
貯蔵品	21,103	30,214
その他	757,692	684,558
貸倒引当金	△45,355	△27,502
流動資産合計	7,327,760	7,632,180
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,729,912	2,729,912
その他(純額)	1,308,294	1,306,586
有形固定資産合計	4,038,207	4,036,499
無形固定資産		
ソフトウェア	1,107,156	1,368,892
ソフトウェア仮勘定	670,668	169,354
その他	31,685	23,456
無形固定資産合計	1,809,510	1,561,703
投資その他の資産		
その他	1,844,662	1,837,308
貸倒引当金	△26,377	△25,603
投資その他の資産合計	1,818,285	1,811,704
固定資産合計	7,666,003	7,409,907
資産合計	14,993,763	15,042,088
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	604,456	606,205
短期借入金	1,100,000	1,385,000
1年内返済予定の長期借入金	458,060	298,300
1年内償還予定の社債	244,000	244,000
未払法人税等	425,734	384,304
賞与引当金	420,833	143,461
その他の引当金	50,685	28,513
その他	1,675,220	1,944,785
流動負債合計	4,978,990	5,034,569
固定負債		
社債	662,000	510,000
長期借入金	1,289,725	1,086,700
引当金	20,750	23,080
資産除去債務	16,548	16,833
その他	126,510	94,118
固定負債合計	2,115,534	1,730,732
負債合計	7,094,525	6,765,302

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,198,299	3,198,380
資本剰余金	3,013,389	3,013,389
利益剰余金	2,958,590	3,352,475
自己株式	△1,164,547	△1,164,840
株主資本合計	8,005,732	8,399,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△77,854	△107,675
繰延ヘッジ損益	△28,639	△20,981
その他の包括利益累計額合計	△106,493	△128,656
新株予約権	—	6,037
純資産合計	7,899,238	8,276,785
負債純資産合計	14,993,763	15,042,088

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	13,882,159	14,440,960
売上原価	4,934,109	4,804,184
売上総利益	8,948,049	9,636,776
返品調整引当金戻入額	11,249	20,685
返品調整引当金繰入額	18,358	28,513
差引売上総利益	8,940,940	9,628,948
販売費及び一般管理費	8,128,563	8,127,908
営業利益	812,377	1,501,040
営業外収益		
受取利息	3,728	4,038
受取配当金	5,201	7,203
保険配当金	10,829	14,049
その他	40,512	15,955
営業外収益合計	60,271	41,248
営業外費用		
支払利息	57,782	53,944
その他	2,510	2,173
営業外費用合計	60,293	56,117
経常利益	812,356	1,486,171
特別利益		
投資有価証券売却益	20,728	2,091
貸倒引当金戻入額	—	1,910
株式割当益	14,844	—
特別利益合計	35,572	4,001
特別損失		
固定資産除却損	6,486	5,686
減損損失	668	364
投資有価証券評価損	99,427	631
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	20,814	—
その他	3,200	—
特別損失合計	130,597	6,682
税金等調整前四半期純利益	717,331	1,483,490
法人税等	384,700	722,500
少数株主損益調整前四半期純利益	332,630	760,990
四半期純利益	332,630	760,990



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	332,630	760,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,088	△29,820
繰延ヘッジ損益	6,899	7,657
その他の包括利益合計	43,987	△22,163
四半期包括利益	376,618	738,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	376,618	738,827
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。